

平成 27 年 7 月 6 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 横山 幸弘
(TEL 03 - 6225 - 2207)

タン・フン紙掲載記事

～Group Lease、注目すべき業績、引き続き過去最高益更新～

当社グループで、東南アジアにおいてファイナンス事業を展開する Group Lease PCL(以下 GL)は、順調に業容を拡大しておりますが、2015 年7月3 日付けのタン・フン紙に掲載されました。下記にその和訳をご紹介します。

(以下、タン・フン紙和訳)

タン・フン紙(Tan Hoon)
2015 年 7 月 3 日

GL、注目すべき業績。引き続き利益の過去最高益を更新。
国内外において事業が発展。

GL は、証券ブローカーが注目すべき業績を出した。2015 年第 2 四半期の利益は、引き続き過去最高益を更新すると予想。国内外の事業発展が支援材料。特に海外事業が成長しており、今年残りの四半期の利益見通しを上方修正。すなわち 2015 年純利益は 5 億 4100 万バーツ(目標株価 15 バーツ)が見込まれる。

トリニティー証券株式会社の証券アナリストによると、グループ・リース株式会社(GL)の 2015 年第 2 四半期利益が、前期比 18%増・前年同期比 1,775%増の 1 億 3000 万バーツになると予想される。前期から引き続き、過去最高益を更新する。昨年来貸付審査を強化した結果、国内事業が回復傾向にあること、また中古二輪車の価格が上昇傾向にあることから、貸倒貸付金の引当額と、回収したオートバイ売却に関するコストが減少したことが主な支援材料となる。

今期の信用コストは 5.13%で、前四半期の 5.44%および前年同期の 10%から大幅に減少する見込み。一方今期の回収車に関するコストは、前四半期の 1 億 700 万バーツから 1 億 200 万バーツに減少する見通し。貸付高成長率は、前期から 3%増となる見込み。カンボジアでの事業が急速に伸びていることが主因で、ひと月あたりの貸付台数が、従来の 1,800 台から 2,000 台に増加すると見られる。

一方タイ国内事業であるが、新車に対する貸付台数が、ひと月あたり 5,000 台と横ばいになる見通し。タナバンを通して、二輪車を担保とする貸付が行われている。経営コストに関しては、カンボジア事業が全土をカバーできたため、横ばいが続く見込み。

今年残りの四半期の業績に関しては、利益が順次成長すると見られる。よって 2015 年純利益予測が、従来の予想に比べて 16%増の 5 億 4100 万バーツ(前年の 4.7 倍)に上方修正した。カンボジアにおける貸付額が次々に伸びる傾向にあり、年末には、ひと月あたりの貸付台数が 3,000-4,000 台に増加すると見られていることが背景。

タイ国内事業では、新車に対する貸付台数が年末まで横ばいとなる見通しであるが、二輪車を担保とする貸付が順調に伸びている。我々は、「二輪車リースにおいてアジアでトップになる」という目標に基づき、GL が引き続き近隣諸国での事業拡大を狙っていると信じている。特にインドネシアは、市場が大きく成長の潜在能力を有している。GL は既に現地でのパートナーを獲得している。2015 年目標株価を 15 バーツ(PBV3.5 倍)に上方修正された。

以 上